

たまがわぐえん町内会広報

発行 玉川学園町内会 会長 鎮目義雄 ☎ 725-0438
E-mail:t-chounaikai194@bz03.plala.or.jp http://www.194-0041.com

平成二四年度定期総会報告

本年度の定期総会が四月二二日(日)午後一時から、さくらんぼホールで開催されました。総会には二二二名の皆さんが出席され、平成二三年度の事業報告・会計報告、平成二四年度の事業計画ならびに予算案の審議、新役員を選出などが行われました。

総会は、前野総務部長の開会宣言、山田会長の挨拶(平成二三年度は、会員みなさんのご協力により、ほぼ計画通りの事業活動が進められたという内容)に続いて、津田勝さん(8丁目)、岡田節子さん(2丁目)が議長に選出され、議事が進行しました。

◎平成二三年度事業報告と収支報告

初めに、三浦副会長から、昨年度町内会の事業活動について、①全体的には、ほぼ計画通りの事業活動が進められたこと、②東日本大震災の未曾有の大惨事に際して、当町内会は義援金500万円を、日本赤十字社を通じて被災地に届けたこと、③懸案の玉ちゃんバス南ルートは、若干遅れているが、ほぼ運行の目途がつき、年度内には開通できる見込みであること、④防犯、環境パトロールの参加者も年間二千名を越し、犯罪抑止に寄与できたこと、⑤防災マップ作りや有事のための連絡手段として携帯無線機を導入したが、今後



更に充実していく必要があること、⑥地区社協は、発足以来二年を経るが、さらなる活性化を目指して、今後とも、注力、推進していく必要があることなどが報告されました。

続いて、鷹簗経理部長から平成二三年度決算報告(資料1・9頁)が、伊藤会計監査からその決算に対する監査報告があり、この三つの報告に対する質疑が行われました。主な質問は、防犯委員の任期、「憩いの椅子」の

◎平成二四年度事業計画と予算案

平成二四年度の事業計画については、まず鎮目副会長から「方針と活動の進め方」(資料3・3頁)が説明され、次いで、総務部長、広報部長、防犯防災部長、環境部長、

材料費、資源回収収益金の計上年度についてなどで、それぞれについて担当者から説明があった後採決に付され、これらの報告は異議なく承認されました。



◎会長、副会長、幹事、会計監査の選出

平成二四年度新役員(会長、副会長、幹事、会計監査)の選出は、選挙世話人が中心になって、町内会会員からの推薦ないし投票によって得られた

各役員候補を、本人の了解のもとに総会で承認するという方式で行われました。その結果、新会長には鎮目義雄さん(緑が丘B)が、副会長には三浦光利さん(旭が丘西)および松香光夫さん(雲雀ヶ丘A)が、それぞれ選出されました。この三名を含む、本総会で選出された新役員の方々の名前は、「町内会だより」四・五月合併号に掲載されています。

◎その他の報告

この総会では、次の諸団体からも報告がありました。
・玉川学園地区町内会・自治会連合会報告
・玉川学園交通問題協議

総会の風景



活動計画を報告する伊藤 宏 前広報部長



- ・会報告
- ・玉川学園コミュニティバス推進委員会報告
- ・玉川学園地区社会福祉協議会報告
- ・玉川学園まちづくりの会報告
- ・芝生の会報告
- ・こすもす会館収支報告
- ・さくらんぼホール収支報告
- ・消防団(第一分団第五部)の事業および会計報告

- ◎新、旧会長挨拶
- ◎新幹事、会計監査紹介
- ◎閉会

防災、環境、福祉、ふれあい、文化のまちを目指して



鎮目義雄会長

玉川学園地域のまちは、1929年(昭和4年)の玉川学園の創設と玉川学園前駅の開設に始まり八十年余、緑と起伏に富んだ文教地区として、全国から移住してこられた方々によって造られてきたまちです。

玉川学園町内会も、この地域の人口が、学園関係者の人数を上回って急速に増加し始めた1962年(昭和三十七年)に創設され、今年で五十年目を迎えることになりました。

この間、先達の方々は、「玉川学園地域はひとつ」として、「住みよいまち、安心安全のまち」「声をかけあい、心の通い合う温かいまち」「自然と緑を大切にすまちなち」を目指して素晴らしいまちを造ってこられました。

玉川学園町内会は、市役所、学校、商店会、福祉団体、地域の団体、町田警察署駐在所、消防団なども協働して、このまちに相應しい活動として、大きく分けて5つのテーマに取り組んできました。ひとつは、防犯防災活

動です。災害時に備えて、普段から、防災訓練、見守りパトロール、消火器・防災道具の点検を行っています。

東日本大災害でも、普段から見守りパトロールや防災訓練をきちんと行ってきた現地の自治会は、人的被害を最小限に抑えられたと伺っております。お一人住まい、高齢者のみでお住まいの方、乳幼児を抱えたご家族への声かけなど普段からの防災準備は欠かせない課題になっております。

二つ目は、環境問題です。生活ごみを必要以上に増やさないよう努めるほか、資源ごみのリサイクルなど循環型社会の構築への貢献も大切な課題です。

さらに、花と緑の景観と住環境との調和が守られてきた玉川学園のまちを今後どのように維持していくかも大きなテーマです。

三つ目は、少子高齢化対策です。少子高齢化の進んだ玉川学園地域で、ご病気の方、乳幼児を抱えたご家庭や、お一人住まいの方、高齢者のみのご家庭など、ちょっとしたお声かけ、ささやかなお手伝いで心が和むまちづくりを進めていきたいものです。町内会、地区社会福祉協議会、福祉団

体との連携が大切です。四つ目は、地域で気心の通い合う人達を少しでも増やし、日頃からお付き合いの機会を設けて、明るく住みよいまちを目指していくことです。

敬老会、健康ウォーキング、年末のこども劇場餅つき大会のほか、地域の雛めぐり、さくらまつり、凧揚げ、フラッグアート、商店会夏祭りなど、地域の交流、世帯間交流の場を今後も大いに楽しみにしたいものです。

五つ目は、玉川学園地区らしい文化交流です。講演会や音楽祭のほか、地域の住民が、音楽や、絵画、工芸、写真など、創造的分野での個性発揮に生きがいを感じて作品にまとめ、展示される機会が多いため、玉川学園地域の特性ではないかと思えます。作品への取り組みと発表の機会が玉川学園地域の文化的香りと心の通う交流につながるよ

いきつけになっていくものと感じます。玉川学園地域が、気心の知れた知人を沢山持ち、普段から広い交流を通じて住みやすく楽しいまちであり続けるよう、町内会も地域団体、機関と協調して、今後も活動を進めていくことができればと思っております。

玉川学園地域が、気心の知れた知人を沢山持ち、普段から広い交流を通じて住みやすく楽しいまちであり続けるよう、町内会も地域団体、機関と協調して、今後も活動を進めていくことができればと思っております。

新しい会長・副会長からの地域の皆様へのメッセージです



三浦光利副会長

私は町内会で、5年間防災防犯関連の担当をしてきたこともあり、防災と防犯に関していくつかのお願いをしたいと思います。

最初に防災に関して。東日本大震災後、その余震と見られる地震が数多く発生しています。又、首都直下型M7クラスの地震が、4年以内に70%の確率で発生するだろうという予想も発表されています。そのような災害が起こった直後は、国や地方自治体による公助は全く期待できません。

阪神・淡路大震災のおりも、家屋や家具などの倒壊で動けなかった人の80%が、家族や近隣の人々に助け出されたそうです。お互いに助け合う協力が自然に生み出されるよう、日頃から向こう三軒両隣の付き合いを大切にしてください。

近年発生した大きな地震で、怪我をした原因を調べてみると、30〜50%の人が家具の転倒・落下によるものでした。家具類の転倒・落下防止対策は、地震時の負傷防止対策として最も有効です。

再任にあたって

災害そのものは防ぐことは出来ませんが、大震災の際、少しでも死者や怪我人を減らす努力―家具転倒防止金具の設置―をお願いいたします。震災の際、死者の多くは家屋の倒壊によるものです。町田市では、家屋耐震無料診断等、家屋耐震に対していろいろな補助制度を設けています。一度市役所に自宅の耐震相談をしてみてください。

3・11大震災では、多くの方が連絡手段を失い、不安な思いをされたことと思います。町内会では、東京都の助成を受けて、事務所、消防団、小学校や各地区に無線機を配備しました。まだハードがそろっただけで、ソフト面の充実はまだまだこれからですが、災害時でも連絡を取り合える町作りを目指しています。

次に防犯に関して。安心・安全の町づくりを達成するために町内会が実施しているのが、どんな犯罪に注意したらよいかといった、防犯ニュースを流す広報活動や防犯パトロールです。防犯パトロールは平成16年暮れから始まりましたが、その年には玉川学園地区で侵入盗43件、ひったくり7件が発生していました。それがパトロール開始後徐々に減少し、

平成20年以降は侵入盗10件未満、ひったくり0〜2件程度にまで少なくなっています。私もパトロールに参加し、本当に防犯に役立つのか疑問に思っていました。しかし、侵入盗を取り調べた警官によると、犯人は侵入前に必ず下見にくるが、その際パトロール隊に遭遇したり、挨拶をされると落ち着いて物色出来ず、あきらめることにつながるそうです。パトロール隊は人数が多いほど犯人への圧力が強まるので多くの方の参加をお待ちします。



玉川学園に住んで久しくなります



松香光夫副会長

昭和二十七年（1952年）に、何を思ったかクリスチャンだった父が、私を小原國芳先生に預けて以来、玉川学園との繋がりで生きてきました。大学院の5年間を外に出ましたが、その後玉川大学農学部に勤めましたから、人生の大部分が玉川学園ですね。親が玉川学園に家を建てて、渋谷区から（1960年に）引っ越して以来住み始めて五十年以上になります。

ところが、申し訳ありませんが住人という意識は乏しくて、玉川学園町内会との関わりは、退職してからたまたま回ってきた支部長という役回りからでした。永く住んでいるのに地元のことを考えていなかったことを反省する切っ掛けとなつて、次の年には幹事をお引き受けし、今回は凶らずも副会長です。

副会長として動き出してみると幹事とは別の側面に手を広げることになり、ご恩返し気持はあります。慣れぬ活動ですので、皆さまにご迷惑を掛けねば良いかと思う今日この頃です。



ハンドベルコンサート



子供劇場の一コマ

資料3・平成24年度事業計画
～方針と活動の進め方～

会員の積極的なボランティア活動で

「人にやさしい安心して住むことのできる明るいまちづくり」の推進と「だれもが歩いて豊かな景観を楽しめるまち」を目指し、住民の声を行政に反映させるとともに、住みよい環境の整備、促進に努めます。

- (1) 防犯意識の高揚をはかり、防犯パトロール隊の活動を推進し、安全・安心のまちづくりを目指します。
- (2) 防災意識の高揚をはかり、自主防災隊の活動を推進し、災害に強いまちづくりを目指します。
- (3) 「混ぜればごみ」「分ければ資源」廃棄物減量に取り組み、循環型社会の推進を目指します。
- (4) 「広報」、「町内会だより」及び「ホームページ」を通じて、地域の情報を共有し、会員相互の連帯をすすめます。
- (5) 子どもから高齢者まで、広く参加できる集いを企画実践し、交流を深めます。
- (6) 会員の高齢化、環境の変化など、地域社会が抱える課題の解決に向けた取り組みをすすめます。
- (7) 玉川学園交通問題協議会、玉川学園コミュニティバス推進委員会の中核として、会の運営に努めます。
 - ①交通安全のモラル向上を目指し、玉川学園前駅周辺の違法駐輪・駐車対策の推進と「駐輪・駐車秩序正常化キャンペーン」による啓蒙運動を実践します。
 - ②「玉ちゃんバス」南ルートの実現に努めます。
- (8) 玉川学園地区社会福祉協議会の運営を協働します。
全ての住民が、地域の福祉課題を話し合い、助け合う活動を実践します。
- (9) 「玉川学園こすもす会館」「玉川学園さくらんぼホール」の運営は関係自治会と協働し、その中核として円滑な運営に努め、広く会員の利用促進をはかり地域コミュニティの場として寄与するよう努めます。
- (10) 近隣町内会・自治会との交流を深めるとともに諸団体と情報交換を密にし、ともに活動してふれあいの輪をひろげてゆきます。

玉川学園町内会には9つの部があります。それぞれの部ではどのような活動をしているのか。本年度の活動予定は。会員に期待されていることはなにか。次ページ以下で、各部の部長さんたちにその抱負や活動の方針などを語っていただきました。

部長さんが語る、町内会の活動

防犯防災部 平成二四年度の抱負

部長 中村隆一

昨年の4月、現三浦副会長より防犯防災部長を引き継ぎ、本年度も、もう1期(2年)担当することになりました。昨年は、防犯防災部の予定された各種行事を滞りなく消化することで夢中の1年間でありました。

しかし、昨年の東北大地震により地域住民の防災に対する関心は非常に高まってきておりますが、震災は「対岸の火事」ではありません！テレビや新聞等で報じられているとおり、何時何処で大きな震災が起きていても不思議ではありません。

俗に昔から「震災は、忘れた頃にやってくる。」と言われておりますが、現在では「震災は、忘れないうちにやってくる。」と言って良いでしょう。そこで災害が発生してから右往左往させられ、大騒ぎをして対応するのはなく、災害が発生する前から出来るだけ速やかに準備しておくのが防災の基本的な対応です。

料・灯火および糞尿の始末等、その他貴重品(預金通帳・財布や重要書面等)の持ち出しおよび家屋の補強等を考えると、数限りありません。必要最小限度と言われても、どこまで準備をしたら良いのか難しいところですが、要は、災害が発生し被災者になったら、まず公共機関(消防・警察等)の直ぐの活動は期待できず、自分の身は自分で守るしかありません。したがって、救助活動が軌道に乗る迄の間(一週間位)を自分でどう持ち堪えるかが生死の境目と思われれます。

当町内会の防災活動は、住民の安全を確保することを目的としております

救急コーナー



防災体験研修

が、これは住民の皆様が日常の安全対策を施されても、個人での対応には限度があることから、その不足分を町内会が補うものであり、安全対策は各所帯単位で行っていたものが基本であります。そのため、当部では各

環境部

部長 徳力幹彦

環境部の活動計画は以下の通りです。

(1)「憩いの椅子」点検整備

学園内の二十三ヶ所に「憩いの椅子」が設置されておられ、皆さんに自由に使っていただいておりますが、これらの点検修理を担当しています。万一、壊れているのを見つけた方は町内会事務所

(2)環境パトロール実施

毎月1回、防犯パトロールと協働して実施してまいります。集団で話をしながらのパトロールです。この傘の利用については色々問題があるようですので、ご意見のある方は、是非、町内会事務所にご連絡ください。

(5)「善意の傘」運用

大興資源有限会社以外の車が回収資源を無断で回収していることがありま

玉川学園の駅に自由に使用できる傘が置いてあります。これは、「善意の傘」として町内会が運用しており、環境部が修理ならびに壊れた傘の布を利用して作るバッグなどを管理してあります。この傘の利用に関しては色々問題があるようですので、ご意見のある方は、是非、町内会事務所にご連絡ください。

(6)リサイクル施設見学

今年7月30日(月)に千葉県君津市の新日鉄製鉄所の日帰りツアーを計画しています。詳細は6月号の町内会だよりをご覧ください。

(4)「資源回収」の運用状況点検

現在入ゴミを資源として活用できるように皆様にご協力をお願いして分別回収を実施してまいります。この区分けを厳格に実施していただくことにより、資源としての再利用が容易になり、町内会にも利益の一部が還元されますので、ご協力をお願いいたします。ただし、

総務部の事業計画

総務部長 浅見孝志

総務部の任務は、「調和のとれた町内会事業の遂行のためチームワークをとり、各部との調整パイプ的役割を推進すること」にあります。具体的には、次の四つが総務部の主な任務です。

1. 円滑な定例会議の開催

定例会議として予定されているのは次の6会議です。

- ① 常任幹事会 毎月 第4火曜日
- ② 幹事会 毎月 第1火曜日
- ③ 支部長会 毎月 第3火曜日
ただし、4月、8月、12月を除く
- ④ 地区会 各地区(1~8)で随時開催

2. 研修会

- ① 幹事研修 11月予定
- ② 支部長研修 6月予定

3. 諸報告

- ① 町田市市民協働推進課へ
 - ・平成23年度事業報告、収支会計報告
 - ・平成24年度事業計画、収支会計予算
 - ・「まちびと」の配布予定数報告

4. その他

- ・会長、副会長および各部長との連携を密にし、町内会活動全体の促進調整をはかる
- ・会員に対する弔慰金、新入学児童への祝い金手続き等を行う
- ・諸団体への会費、助成金の手続き等を行う
- ・関係する団体との調整を図る



高齢者部

部長 斉藤 三夫

いま、現代社会は「若い」に優しくない社会と言われます。老いに優しくない社会は、人に優しくない社会です。

そうした社会風潮の中、東日本大震災を目の当たりにし、「人と人との絆」「地域の絆」の大切さを、改めて多くの人々が見直した一年でもありました。

さまざまな「ちがいを」越えて人々が絆を強め、互いに支え合っていくことで「人への優しさ」を取り戻していく。今こそ、そのようにありたいと心から思います。

人生を長年歩み、年をかさねて来られた人生の先輩方にも、この町でいつまでも心穏やかに暮らして頂けますように、町内会高齢者部としていくつかの取り組みを考えております。



恒例の行事としては、高齢者同士の交流、世代間交流の場となる「敬老会」を、今年は九月十七日(月)敬老の日に、町田第五小学校体育館をお借りして開催の予定です。

恒例の行事としては、高齢者同士の交流、世代間交流の場となる「敬老会」を、今年は九月十七日(月)敬老の日に、町田第五小学校体育館をお借りして開催の予定です。

追って、町内会だよりのご案内を通して内容をお知らせいたします。多くの高齢者の皆さまのご参加をお待ちしております。

民の交流の場、機会を増やし交流を深めていく。など、人のつながりによる「安心して住めるまち」を目指して参ります。

成人部

健康づくりと親睦の輪を

部長 藤村 雄一

平成二十三年度は、最後の恩田川のお花見ウォーキングが、雷・強風注意報のために、またも中止となり、残念な幕切れとなつてしまいました。

しかし、玉川学園地区町内会自治会連合会(玉連)で行った10月10日の秋の健康づくりウォーキングは、参加者がなんと一八〇名という大所帯で実施されました。鶴川駅を起点に名刹高蔵寺・妙福寺に多数の横穴古墳。山道や谷戸が美しい豊かな自然が残る三輪の里。谷戸の奥から一山越えると、そこには広い谷戸に一面の田んぼが広がる。そこは横浜市の寺家。今でこそ「ふるさと村」として整備されていますが、一昔前はほとんど人の手が入らず、見渡す限り人工的なものは田んぼと砂利道だけの所でした。帰路は、三輪・緑山・岡上を経て学園に戻り、人と自然の共存を体感した一日でした。

十一月七日、バス親睦旅行で行った名湯・伊香保温泉。湯上りに秋の冷気が心地よい。その後、

たくさんの方の力を寄せ合い、「共生」の輪を広げて参りたく、何とぞよろしくお願い申し上げます。

有名な石段を登り、晩秋の静かな榛名湖畔を散策しました。帰途の車内は明るい会話が弾み、皆さんの親睦の広がりが伝わってきて、楽しい一日が過ぎました。

成人部は、町田市の健康づくり推進委員も兼ね、様々なイベントに参加し、他の地区の町内会とも親交を深めています。特に三月十四日には玉川学園町内会が中心となって、大地沢青少年センターでウォーキングとカレーライスの食事を実施しました。

二十四年度の事業計画ですが、町内会・玉連健康ウォーキングについては、玉川学園の近辺は豊かな里山や自然が、まだまだ残っています。それらを楽しみながら散策出来るような場所を精選し、企画をしたいと考えています。いつも大人気のバス旅行では、抽選で漏れて残念な思いをなさった方々を思い、何らかの対策を考えていきたいと思っております。どうかご理解とご支援をお願いいたします。

文化部

部長 峰岸 伸樹

文化部は、毎年、主として年に二回、九月と十二月に文化講演会、音楽会を開催してまいりました。毎回たくさんの方に

お越しいただき、大盛況のうちに推移してきました。直近の昨年度は、九月十日にさくらんぼホールで、「バカの壁」(養老孟司)、「国家の品格」(藤原正彦)を初め、数々のベストセラーを連発している新潮社常務の石井昂氏をお招きし、ベストセラー誕生の秘訣、編集者として著者との間のウラ話、電子書籍や無断盗用の海賊版などについて語っていただき大変好評でした。

十二月二十四日のハンドベル演奏会は玉川学園中学年講堂で、同学園ハンドベルクワイアの皆さんによるクリスマスコンサートとして開かれましたが、予定人員を越えた入場者のために補助席を急いで用意したものの、それでも入り切れない方が出るほどの盛り上がり方でした。

今年度は、昨年度までの文化部長だった浅見孝志さんが総務部長に転じたため、成人部長だった峰岸が文化部を担当することになりました。部員の井熊孝司さん、木目田典子さんや、町内会の幹事、会員の皆様のご協力

をいただいで、これまでと同様に充実した文化的イベントを実施していきたいと思っております。具体的には九月八日(土)の午後に、さくらんぼホールで文化講演会を予定していますが、講師内容については現在検討中なので、詳細は七月発行の「町内会だより」で発表できると思っております。また、今年も音楽会を開くつもりですが、新たに大看板の真打ちをお呼びして落語会も行うつもりです。本格的な古典落語をお楽しみください。

今後、文化部長は文教指定都市、玉川学園の名に恥じない活動が続けてまいりますが、町内会の皆様には、ご指導、ご鞭撻を切にお願いするとともに、各種の催し物に積極的にご参加下さいますようお願い申し上げます。

広報部

部長 瀧 倫彦

広報部は、担当者が総入れ替えとなり、本年度から瀧、江藏、藤本の三名が担当することになりました。広報部の主な仕事は、「たまがわがくえん町内会広報」(年二回)および「町内会だより」(毎月)の発行と、「町内会ホームページ」の更新・管理です。

「町内会広報」は「玉川学園町内会」活動の半公式記録的文書、「町内

会だより」は情報の迅速な伝達を主眼とした「かわら版」のようなものです。「ホームページ」は、「広報」や「たより」の倉庫、文書では伝えきれない情報を視覚化して伝える媒体、さらには、玉川学園町内会の活動や行事と関連する活動を行っている団体や機関へのアクセスを容易にする便利帳です。いずれにせよ、これらの媒体を通じて広



報部がお届けする情報は、実は、町内の皆さんが発信し、受信する情報です。発信したい、あるいは情報として受け取りたいことがございましたら、広報部までお知らせください。また、広報部の活動に対する忌憚のないご意見もお寄せ下さいますようお願い申し上げます。

経理部

部長 鷹 箸 宏 代

前期に引続き経理部長を担当する事になりました
特に5月から6月にかけて会費の取りまとめで支部長さん・班長さんにはお世話になりたいへんご苦勞をおかけいたしております。

平成24年度 町田市地域資源化特別指定団体の認定を受けて玉川学園町内会全域と東玉川学園一部の資源回収を引きうける事になり、市からの奨励金がこれまでより少し増額となりました。

奨励金については、町内会の考え方としてこれまでも度々お話ししてまいりましたように、一部は非常時の運用資金として積立てています。

この奨励金の使途に関して個々への還元は行っておりませんが、これまでは地域内の町内会関連の公共施設(町内会事務所建設費・桜実会・こすもす会館・さくらんぼホール・町五小学校)への還元また災害地への義援金・募金拠出・地域の福祉関係・防犯防災に関する支出など幅広く有効に活用させていただいています。この様に運用させて頂けるのもみなさんのご協力があるの事です。今後もよろしく願いいたします。

平成2年資源回収を始めた当初から平成20年までの奨励金の活用状況(平成21年発行の「我がまち玉川学園地域80年のあゆみ」から・単位円)

Table with 2 columns: Item and Amount. Items include: 町内会事務所・こすもす会館・さくらんぼホール建設・維持補修費 (6,995,000), 掲示板・住居案内図・玉川学園前駅構内地図板 (1,081,000), 憩いの椅子・置き傘棚 (1,169,000), 防災関係・防災倉庫および収納品・防災マップ作製 (5,897,000), 資源回収関係・資源回収プレート・紙ひも (3,846,000), 地域団体への支援・桜実会・町五小(紅白幕、テント、机、いす) 消防団(投光機、発電機、テント) (4,377,000), その他 自治会活動賠償責任保険料・リサイクル見学会 (1,264,000), 拠出金 募金・救援金(震災 淡路・中越) (7,250,000), 支出金 (31,881,000)

クリスマス会



今年度、青少年部部長を勤めさせていただくことになりました。私は町内会での活動は初めてですが以前から児童館などで、こども達と多く関わっていますので、その経験を生かして町内会の青少年部の活動を行っていくと考えています。青少年部の今年度の主な予定は例年と同様に、一〇月二八日に予定されている秋のこどもまつりに参加協力をします。そして、町内会独自の催しとしては一二月にクリスマス会、年明けにはもちつき大会など地域のこどもたちを楽しんでもらう行事を行ないます。そしてさまざまな行事

青少年部

部長 加藤 治 男

を通して、このまちのこどもたちが安心して楽しく過ごせる地域であるように、私達青少年部でできることは積極的に関わっていききたいと思っています。こどもたちは、このまちの未来をつくって行く大事な存在です。そして今現在のこどもたちの笑顔は、まちにとって何よりの財産です。私自身は初めてのことで至らない点もあるかと思いますが、楽しみながら行なっていきたいと思っています。こどもたちの笑顔をふやせる様に、よろしく願いいたします。



関連団体ならびに施設

玉川学園地区町内会 自治会連合会

「玉川学園地域はひとつ」を合い言葉に、地域の六町内会・自治会が一体となって協力し、地域の課題の解決や会員相互の親睦を図ることににより、「心の通い合う住みよいまち、安心して暮らせるまち」を目指して結成されました。

平成二四年五月一四日の総会で次の方々が本年度の役員に選出されました。
会 長 鎮目義雄(玉)
副会長 加藤 智(興)
事務局長 三浦光利(玉)
副事務局長 松香光夫(玉)
監 事 岡本 宏(一)

※ なお、各町内会・自治会の現在の会長は次の方々です。
玉川学園町内会(玉) 鎮目義雄
第一住宅自治会(一) 岡本 宏
興人住宅自治会(興人) 加藤 智
松風台自治会(松) 塩澤弘一
桜ヶ丘自治会(桜) 平泉利廣
会長代行 朝香幸信
東玉川学園睦会(睦) 松本 忠

こすもす会館

町田市から建設費として680万円の補助金をいただき建設された会館は今年で一六六周年になります。

玉川学園町内会と東玉川学園睦会の財産として自主運営をしています。委員・協力員により順調に運営されています。四月二八日に「こすもす会館総会」が開催され、平成二四年度は、つぎの方々が委員に決まりました。

委員長 鎮目 義雄
事務局長 鷹箸 宏代
会計 木目田典子
管理 三浦 光利
庶務 齊藤 三夫
運営 上野真智子
澤村加奈子
退任された方々
山田勝也・平野美砂子・江藏 桂・後藤美知子・浜崎タキ
ご苦勞さまでした。

さくらんぼホール

さくらんぼホールは、東京都が設置し、地域住民から選ばれた施設委員会が運営する中規模集会所

施設です。五月三〇日の総会で、次の方々が本年度の役員に選出されました。

- 委員長 鎮目義雄(玉)
- 副委員長 岡本 宏(一)
- 副委員長 平泉利廣(桜)
- 副委員長 加藤 智(興)
- 副委員長 塩澤弘一(松)
- 事務局長 浅見孝志(玉)
- 計 藤本義信(玉)
- 計 中島英子(興)
- 記 松香光夫(玉)
- 記 豊田正江(一)
- 幹 吉見 昶(玉)
- 幹 長野益美(玉)
- 幹 内藤恵子(玉)
- 幹 根上秀夫(玉)
- 監 勝田洋子(興)
- 監 查 勝田洋子(興)

玉川学園地区 社会福祉協議会

本協議会は、玉川学園地区の福祉関係一五団体と、町内会・自治会とで構成される「福祉でまちづくり」を目標とする会で、平成二二年五月に町田市では最初の地区社協として発足しました。五月一三日の総会で、次の方々が本年度の理事・監事に選出されました。

理事

- 鎮目義雄 (玉川学園地区町内会・自治会連合会)
- 三浦光利 (玉川学園町内会)
- 齊藤三夫 (玉川学園町内会)
- 内田延子 (NPO法人子育て子育ち支援タッグポート)
- 岡田節子 (玉川学園ふれあいサロン)
- 小林君江 (東玉川学園会食)
- お楽しみ会 (井上宮子 (たまり場・7) 雨宮正輝 (わあくす) 種市京子 (地域住民) 秋山啓子 (地域住民) 加藤 智 (玉川学園町内会)
- 自治会連合会 (一石靖江(民生児童委員) 高見澤邦郎(芝生の会) 一番ヶ瀬伸子 (町田第3高齢者支援センター) 岡田榮子 (地域住民)
- 監事 (堀内悠子 (青少年健全育成) 半澤芳友 (地域住民)

なお、六月二日の理事会で会長に鎮目義雄さん、副会長に井上宮子さん、事務局長に三浦光利さんが選出されました。

地区長さんに聞く、町内会の仕事

原稿の長短によって地区順を変更させていただきました。

第1地区 (緑ヶ丘A、B、玉園台、茜台、新茜台) 地区長 種市 邦 朗

地区の諸活動について

第1地区は、会員約60名で1丁目と3丁目の約半数の方達により、5支部で構成されています。奇数月の土曜日に地区会を開催し、町内会活動の情報交換を行い、さらには自主防災隊との連携を図って諸活動を展開していく事を行っています。

地区会では、各支部からの問題点の提起により、審議を計り地区内で解決できるものは処置をしていき、出来ない案件は本部に上げて解決を図っていく事としています。

地区内のコミュニケーションを図るものとして、防犯・防災・環境パトロールがあります。当地区は三つの活動を一緒に行なっています。防犯については学童の下校時の安全確認、防災については地区内の13ヶ所に設置されている「街頭消火器」の圧力針の点検、環境については道路上に捨てられているゴミ類の回収等を、5支部の主催で年2回持ち回りで計10回行なっています。パトロールは支部長が主導し、幹事、支部関係の防災隊員が参加して、更には駅前駐在所の巡査長の参加も得て行なっています。

第1地区独自の防災訓練を行なっています。これは本部で8月末に行なう合同防災訓練とは別に、「心肺蘇生・心臓マッサージ・人工呼吸訓練、AED徐細動機器の取り扱い訓練・一時避難場所設置訓練等を市・消防署のご指導を頂いて行なっています。

今後とも第1地区の諸活動について、ご理解とご協力を宜しく願います。

第4地区 (桜ヶ丘D、美鈴台、五小台、玉林台、新玉林台、静林台) 地区長 浅見 孝 志

第4地区は、玉川学園4丁目を玉川学園町内会と興人自治会に2分した形で分かれています。

区分は、必ずしも道路で明確に区分されている訳でなく複雑に入り組んでいる状態で地域割りになっています。平成23年度の地区会開催は、5月、9月、11月、2月の4回でした。定例の議題としては、町内会の行事、活動の報告です。また、各行事に積極的な参加を要請するとともに、防犯、環境パトロール、春秋の駐輪・駐車正常化キャンペーン、防災訓練への参加協力、高齢者には敬老会への出席をすすめる等を行いました。

平成22年度から実施された「資源ごみ回収」の制度にも大したトラブルもなく、スムーズに移行でき、今日まで順調に推移してきたことは、会員のみなさまのご理解とご協力の賜物と感謝しております。

防犯についても地区内での犯罪発生は1件もありませんでした。これも地区管轄のお巡りさんと一緒に防犯・環境パトロールを定期的に行っている成果でしょう。今年度も引き続き新役員とともに犯罪0件を目指して頑張っていきたいと思えます。

地区内にも高齢者が多くなりました。特に一人住まいの高齢者には、近隣の方々の協力が何にもまして重要なことです。挨拶、声掛けが大切なことと思えます。近隣にお住まいの高齢者方に愛の手を、助け合い、支え合える地区をめざし、安全、安心な街であるよう、みんなで努力していきましょう。

第5地区 (池ノ台、松風台A、B、雲雀ヶ丘A、B、夕日ヶ丘A、B) 地区長 松 香 光 夫

第5地区は、玉川学園5丁目と、6丁目にお住まいの皆さんが所属しておられます。7支部47班から構成されています。各支部に支部長、防災委員、環境委員が各1名置かれています(一部の役員は兼任)。町内会本部役員としては、松香が副会長と地区長を兼ね、徳力幹彦常任幹事(環境部長)、鈴木妙江幹事(環境部)、内藤恵子幹事(青少年部)の4名が担当しています。

地域的には6丁目の東側大部分が、学校法人玉川学園の敷地ですので、6丁目の住民は多くありませんが「夕日ヶ丘A」支部に所属しています。玉ちゃんバスが「松風台」にも停まりますが、これも支部名となっています。松風台地区には、玉川学園町内会とは別の「松風台自治会」が隣接しており、さらに西北側には金井小学校があるので、同小学校とも連絡しながら防犯活動に協力しています。

第5地区には防災倉庫が2つあります。一つはなかよし公園内にあり、毎月の防犯・環境パトロールの出発点(および終点)となっています。もう一つは、玉川池(玉川学園正門脇)と消防分団事務所の間にあり、これは町内会本部直轄の倉庫です。

第2地区

(月見ヶ丘A、B、紅葉ヶ丘、桜ヶ丘A、B、C)

第2地区活動報告 地区長 石川征靖

平成23年度は計4回の地区会を開催し、地区内の諸問題を取り上げ議論した。特に第2地区での3件の新築工事計画1)や野良ネコ対策、公道脇の庭木の剪定問題などの環境問題2)が数回にわたり話し合われた。地区会としては、今後とも会員からの要望を積極的に取り上げて幹事会に提出するように心がけたい。

1) 小津マンション建設(現在進行中)、旧みつはし邸跡、旧平田邸跡宅地造成(頓挫あるいは中断中:後者は桜ヶ丘Cの刀祢和夫氏の献身的運動の成果である。)

2) 数件の要望書が提出された(桜ヶ丘Aの公道脇の草木剪定など)が、未解決案件(桜ヶ丘Cの街路灯新設)も残った。

昨年夏には旧山田邸跡桜伐採問題が急遽起こり、多くの会員の皆様のご協力のおかげで600件近くの反対署名が集まり、町田市道路管理課に提出した。また、数回の集会を通して地区の要望を道路管理課に伝えた。しかしながら、市および町内会の積極的な支持も得られないまま不満な結果となったのは、わが地区としては非常に残念であった。

第6地区 (つつじヶ丘、東急台)

地区長 斉藤三夫

私が、東京の世田谷から今の住まいの第6地区(東玉川学園)に移り住んで35年。同じ頃共に暮らすようになった、当時働き盛りであった方々の多くがリタイアし、70代となりました。

それぞれお子さんたちが結婚独立して家を離れ、いま年を重ねたご夫婦だけの家、伴侶に先立たれ一人暮らしをされている方も多きことを、昨年支部長のお役を頂いて地域内を歩く中、改めてそのことに気付きました。

年々進む「高齢化」。大地震などの自然災害、突然の病気や怪我など「いざまさか」の時、直ぐに手を差し伸べられるのは、離れた処に暮らす親族よりも隣り近所の方々ではないかと思ひます。

又、山坂、階段の多い玉川学園 — そこが魅力でもありましたが、年を重ねてくると買い物一つ難儀なことにもなります。このような生活上の困り事一つ一つにも耳を傾け、何とか互いに協力し、支え合っていけるような、「みんなが支え合う住みよい町」にしていきたい — 今の私の夢であり、希望でもあります。

私自身、この秋に70代後半「後期高齢者」の仲間入りをしますが、『人は年を重ねるから老いるのではない。夢や希望を失う時、人は老いる』との、サミエル・ウルマンの詩の一節をわがこととし、夢の実現に向かう一日一日と心して参ります。

本号の編集は昨年の「広報」に準じています。無理なお願いを許容し、原稿を寄せられた役員の皆様には厚く御礼申しあげます。また、会員の皆様には、不出来な紙面をご寛恕下さいませよう、そして「広報」のあり方や編集の仕方について、忌憚のないご意見をお聞かせ下さいませようお願いします。

(測)

広報部

編集後記

第3地区 (朝日ヶ丘、新玉園台、学園台、南学園台、南が丘)

地区長 吉見 赳

玉川学園に住んでかれこれ50年になります。

当時から見るとまちは格段に整備され生活がしやすくなりました。(反面自然が失われてきたというマイナス面もありましたが)

これも諸先輩のご尽力のおかげと感謝している次第です。それで身体が動けるうちに少しは地域に恩返しができればと、年齢も顧みず地区長という大役をお引き受けしたのですが、果たしてどれほどお役に立てるか心許ないかぎりです。

近々起こると予想される大地震が心配されます。東日本大震災でもわかるように行政の救援もすぐには期待できません。直後はどうしても地域での自助共助が必要だと思います。その自助共助にいささかでもお役に立てれば、そしてこのまちをより住みよいまちにしたいと思っております。

地区のみなさんのご支援ご協力をおねがいたします。

第7地区 (鶯谷、旭ヶ丘東A、B、旭ヶ丘西、星ヶ丘A、向陽台B)

地区長 中村隆一

本年度初めて地区長を務めることになりましたので、どうぞよろしく願いいたします。防犯防災部長を兼務しており、中々地区の事情を呑み込み難いのが実情です。当地区は8地区の中でも500所帯を超える大きな地区であり、町内会の役員も7名を数えるマンモス地区です。それだけに、各支部では緑地の保全や高齢者への労り、学童の保護および自然災害等々、いろいろな問題を抱えております。しかし、これらの問題は各支部や地区だけで解決できない場合があります。問題によっては、町内会全体の問題として取り組む必要性があります。したがって、支部内で起きた各種のトラブルや問題提起につきましては、支部だけで対応するのではなく、その内容によっては地区会等の機会に「地区」にご報告をお願いいたします。支部長さん一人にご苦勞をかけるのではなく、地区の皆さんで、この地区の問題を共有しましょう!

第8地区 (星ヶ丘B、向陽台A、松見ヶ丘A第一、松見ヶ丘A第二、松見ヶ丘B第一、松見ヶ丘B第二、松見ヶ丘C、化石谷)

地区長 鷹筈宏代

第8地区は小田急電鉄線の南側で玉川学園地域全体からみると南西に位置し、南大谷地域に隣接している場所です。地区の構成は東玉川学園4丁目の一部・玉川学園7丁目の一部・玉川学園8丁目です。この地域の総世帯数約1200戸の中の718世帯が町内会会員です。地区には8つの支部があり、そのうち5つの支部名は「松見ヶ丘」ですが、この名前の由来はどこからきたのでしょうか。ご存じの方がいらしたら教えてください。

地区には無窮会図書館・松見ヶ丘キリスト教会・こすもす会館があります。こすもす会館近くにある化石谷公園では休日になると大勢の子どもたちの遊ぶ賑やかな声一日じゅうきこえています。

玉川学園前駅からかしのき山に抜ける高台にある尾根道は、昭和薬科大学生の通学路になっているので、朝夕のひと時学生であふれています。また、玉ちゃんバスは北ルート運行開始から7年目になりますが、南ルートの運行はさまざまな状況にはばまれ、のびのびになっています。線路沿いの駐輪場も2丁目商店街通りに新設された駐輪所に移り替え整備されつつあります。8丁目の方たちは一日も早い運行を待ちわびているのが現状です。

資料1・平成23年度一般会計収支決算報告書

自平成23年4月1日：至平成24年3月31日

収入の部

(単位：円)

科 目	23年度予算案	23年度実績	摘 要
前年度繰越金	3,324,693	3,324,693	
町内会費	8,000,000	8,125,550	年会費 2,000 円 / 3 ヶ月 500 円
預金利息	0	1,015	
市・補助金	840,200	890,200	町内会世帯割 均等 12,000 + 4,141 世帯 × 200 掲示板補助金 5 万円含
その他の収入	0	132,200	コミュニティバス事務手数料 80 年誌
合 計	12,164,893	12,473,658	

支出の部

(単位：円)

科 目	23年度予算	23年度実績	摘 要
総 務 関 係 費	消 耗 品	100,000	99,574 事務用品 他
	光 熱 費	150,000	100,484 電気 ガス 水道料金
	通 信 費	580,000	537,465 支部長, 役員, 事務所の電話代 はがき 切手代
	交 通 費	75,000	69,850 諸交通費
	交 際 費	280,000	262,500 市町内会自治会連合会費 祝い金 他
	会 議 費	430,000	337,028 支部長会・地区会・その他の会議費
	備 品 費	200,000	149,022 印刷機・複写機リース料 パソコン維持費 扇風機 他
	研 修 費	350,000	331,435 支部長研修会 幹事研修会
	人 件 費	1,800,000	1,695,175 事務員給与
	図 書 印 刷 費	400,000	393,972 印刷用原紙・インク・用紙代金
	保 険 料	40,000	39,570 事務所火災保険料
	雑 費	100,000	113,300 回覧配達料 貸金庫使用料 他
	慶 祝 費	100,000	98,000 新入学児童へのお祝い @ 2,000 円
弔 慰 金	210,000	199,000 弔慰金 @3,000 円	
運 営 費	150,000	107,914 各部部会 他	
計	4,965,000	4,534,289	
事 業 部	広 報 部	625,000	589,110 広報 町内会だより発行 ホームページ 他
	防 犯 防 災 部	380,000	368,434 防災体験学習 防災訓練 防犯パトロール 他
	環 境 部	400,000	359,655 資源回収活動 施設見学 善意の傘 他
	高 齢 者 部	700,000	651,504 敬老会 他
	成 人 部	380,000	374,722 日帰り親睦バス旅行 健康づくりウォーキング 他
	青 少 年 部	240,000	229,039 クリスマスの集い もちつき体験会 他
	文 化 部	150,000	130,928 講演会 音楽会 他
計	2,875,000	2,703,392	
地 域 助 成 金	交通安全協会	10,000	10,000 町田市交通安全協会
	交通問題協議会	30,000	30,000 玉川学園交通問題協議会
	会食サービス	90,000	90,000 在宅福祉を考える会 会食お楽しみ会
	開放プール	5,000	5,000 町田第五小学校校庭開放運営委員会 (夏期のみ)
	青少年育成	90,000	90,000 玉川学園・成瀬台地区委員会 町五小・8丁目・青空子供会
	子どもまつり	70,000	70,000 町田市青少年健全育成玉川学園地区委員会
	計	295,000	295,000
予 備 費	4,029,893	551,500	地区社協支援、芝生の会支援、ブロック補修、フラッグアート、掲示板
次年度繰越金	0	4,389,477	
合 計	12,164,893	12,473,658	

資料2・平成24年度一般会計予算(案)

自平成24年4月1日：至平成25年3月31日

収入の部

(単位：円)

科 目	23年度実績	24年度予算(案)	摘 要
前年度繰越金	3,324,693	4,389,477	
町内会費	8,125,550	8,000,000	年会費 2,000 円 / 3 ヶ月 500 円
預金利息	1,015	0	
市・補助金	890,200	846,400	町内会世帯割 均等 12,000 + 4,172 世帯 × 200
その他の収入	132,200	0	
合 計	12,473,658	13,235,877	

支出の部

(単位：円)

科 目	23年度実績	24年度予算(案)	摘 要	
総 務 関 係 費	消 耗 品	99,574	100,000	事務用品 他
	光 熱 費	100,484	150,000	電気 ガス 水道料金
	通 信 費	537,465	580,000	支部長, 役員, 事務所の電話代 はがき 切手代
	交 通 費	69,850	70,000	諸交通費
	交 際 費	262,500	280,000	市町内会自治会連合会費 祝い金 他
	会 議 費	337,028	430,000	支部長会・地区会・その他の会議費
	備 品 費	149,022	500,000	印刷機・複写機リース料 パソコン維持費 他
	研 修 費	331,435	350,000	支部長研修会 幹事研修会
	人 件 費	1,695,175	1,800,000	事務員給与
	図 書 印 刷 費	393,972	400,000	印刷用原紙・インク・用紙代金
	保 険 料	39,570	40,000	事務所火災保険料
	雑 費	113,300	100,000	回覧配達料 貸金庫使用料 他
	慶 祝 費	98,000	100,000	新入学児童へのお祝い @ 2,000 円
弔 慰 金	199,000	210,000	弔慰金 @3,000 円	
運 営 費	107,914	150,000	各部部会 他	
計	4,534,289	5,260,000		
事 業 部	広 報 部	589,110	785,000	広報 町内会だより発行 ホームページ 他
	防 犯 防 災 部	368,434	380,000	防災体験学習 防災訓練 防犯パトロール 他
	環 境 部	359,655	400,000	資源回収活動 施設見学 善意の傘 他
	高 齢 者 部	651,504	700,000	敬老会 他
	成 人 部	374,722	430,000	日帰り親睦バス旅行 健康づくりウォーキング 他
	青 少 年 部	229,039	240,000	クリスマスの集い もちつき体験会 他
	文 化 部	130,928	250,000	講演会 音楽会 他
計	2,703,392	3,185,000		
地 域 助 成 金	交通安全協会	10,000	10,000	町田市交通安全協会
	交通問題協議会	30,000	30,000	玉川学園交通問題協議会
	会食サービス	90,000	90,000	在宅福祉を考える会 会食お楽しみ会
	開放プール	5,000	5,000	町田第五小学校校庭開放運営委員会(夏期のみ)
	青少年育成	90,000	90,000	玉川学園・成瀬台地区委員会 町五小・8丁目・青空子供会
	子どもまつり	70,000	70,000	町田市青少年健全育成玉川学園地区委員会
	計	295,000	295,000	
予 備 費	551,500	1,500,000		
次年度繰越金	4,389,477	2,995,877		
合 計	12,473,658	13,235,877		